

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	91602
事業名	医療対策室運営費					
評価担当課	所属名	保)保健所 管理課				
	課長名	二見	担当者名	木村	電話番号	011-788-3562
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	
事業の性質	<input type="radio"/> 経常経費	<input checked="" type="radio"/> 臨時的経費				
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理			
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営	<input checked="" type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 補助助成	<input type="radio"/> その他
	目的	短期	当該事業を実施することで、新型コロナウイルス感染症の発生防止及び発生時の迅速な収束を目指す。			
		長期	当該事業を実施することで、長期的な観点から、新型コロナウイルス感染症の発生及びまん延の減少を目指し、市民の健康を維持する。			
	取組内容	新型コロナウイルス感染症に対応するための、保健所医療対策室の運営等に係る以下の事業を実施する。 ①システム利用料、②対策室運営管理費、③入院待機ステーション、④個人防護具、⑤周知啓発等				
実施結果	新型コロナウイルス感染症の対応については、令和3年度から保健所医療対策室を組織化し体制を整備することで、各種対策事業を確実に迅速に実施した。					
事業実施における工夫点	市民生活を守るため医療対策室機能が停滞しないよう感染拡大に応じた体制整備に努めている					
対象者	市民	開始	令和3年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律					
他都市の状況	新型コロナウイルス感染症は世界的に発生しており、他都市においても、法令等に基づき各種対策事業を実施している。					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	0	5,082,000	3,684,910	4,381,000
うち特定財源	0	2,973,096	2,147,048	2,719,915
人工	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費	0	0	0	0
計(事業費+人件費)	0	5,082,000	3,684,910	4,381,000
事業費の内訳	令和3年度決算	決算額:3,684,910千円(内訳は以下のとおり) ①システム利用料:41,200千円、②対策室運営管理費:2,504,075千円、③入院待機ステーション:831,615千円、④個人防護具:110,248千円、⑤周知啓発等:1,291千円、★機動的対応分:196,481千円		
	令和4年度予算	予算額:4,381,000千円(内訳は以下のとおり) ①システム利用料:55,298千円、②対策室運営管理費:2,549,702千円、③入院待機ステーション:1,212,000千円、④個人防護具:56,400千円、⑤周知啓発等:7,600千円、★機動的対応分:500,000千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	新型コロナウイルス感染症対策事業のため指標設定になじまない			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	新型コロナウイルス感染症対策事業のため指標設定になじまない			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルス感染症対応業務を所管する保健所医療対策室を組織化し体制を整備することで、市内の感染症対策の強化を図ることができた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	新型コロナウイルス感染症対応業務は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等に基づき実施しており、事業の規模や水準は他都市と比較しても妥当である。			
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	医療対策室の運営においては、定型的な業務の委託化や派遣労働者の受入など民間活用を進めており、また、感染拡大時には全庁を挙げた保健所への応援体制を増強するなど、対応可能な体制の整備に努めている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	市民生活を守るために必要な体制整備に努めている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	国の方針や感染状況を踏まえ、適宜、保健所医療対策室体制の見直しを図る				
前回の評価	○ A    ○ B    ○ C    ● 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	市民生活を守るために必要な事業である				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 国の方針や感染状況を踏まえ、適宜、保健所医療対策室体制の見直しを図る			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小    ● その他 現時点では、令和5年度の国の方針が明確に示されていないため、方向性等は不透明。		見直し効果額	0